

【行政評価(事務ふりかえり)結果一覧表の見方】

基本目標(章)	主要施策(節)	所管課	事務事業コード	事務事業の名称	構成する細事業の名称	投入コスト(千円) ※下段(臨時・非常勤職員人件費を再掲)				職員 人工数	コスト評価による年度比較 ※上段(対象1単位当たりのコスト 単位:千円) ※下段(対前年比)				成果							平成31年度最終評価									
						H28決算	H29決算	H30決算	H31予算		対象	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	成果指標(単位)	H28目標	H28実績	H29目標	H29実績	H30目標	H30実績	H31目標	成果達成	妥当性 (a~d)	効率性 (a~d)	有効性 (a~d)	総合判定 (A~D)	今後の 方向性	今後の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的内容	評価責任者(課長)の所見
①自然と暮らしを守るふさとづくり	(1)自然環境の保全	環境整備課	110-1	狂犬病予防事業	狂犬病予防集合注射業務、野犬捕獲業務、犬の登録業務	5,387	5,284	5,630	5,955	0.87	注射件数	1	2	2	2	登録犬注射率(%)	(100)	68.6	(100)	56.7	(100)	81.0	(100)	x	b	b	c	C	現状のまま継続	成果達成のため引き続き本人への通知、広報たまたま等での周知を 行っていく。	狂犬病の発生を防止するためには、継続して予防注射の必要性を啓発していく必要がある。 また、野犬や行方不明犬の相談が依然として多数あることから、犬の登録と適正飼養を啓発し、有明保健所と連携・協力して捜索、捕獲等を行う必要がある。
				H17年度~	(0)	(0)	(0)	(0)	***		74.45%	103.19%	94.54%																		

- ① 事務事業が市の総合計画の基本目標(章)のどこに位置付けられているかを表しています。
- ② 事務事業が市の総合計画の主要施策(節)のどこに位置付けられているかを表しています。
- ③ 事務事業を所管し、実施している部署です。
- ④ 事務事業をコード化したもので、事後評価表にもこのコードが付与されています。
- ⑤ 上段が事務事業の名称、下段が事務事業を実施する期間です。
- ⑥ 事務事業を構成する細事業(予算事業を構成する最小単位の事業や業務)です。細事業を類似性のある意図ごとにまとめたものが事務事業です。
- ⑦ 上段が事務事業の実施に要した過去3年度の決算額と当年度の予算額です。下段には、上段の額のうち臨時・非常勤職員の人件費を再掲しています。
- ⑧ 事務事業の実施に要した正職員の人工(にんく)数です。人工数とは労働量を表したもので、職員1人が1年間勤務した労働量を「1.00」に設定しています。例えば、3人の職員が1年を通じてその事務事業だけに従事した場合は「3.00」になり、1人の職員が1年間の業務のうち半分をその事務事業に従事した場合は「0.50」になります。
- ⑨ 投入コストに対し、対象1単位当たり、どれだけのコストがかかっているのかを測定します。上段が対象1単位当たりのコスト(単位:千円)で、下段が対前年比です。対前年比は、100%を超えると、コストパフォーマンスが上がった事を意味します。逆に100%未満の場合は、コストパフォーマンスが下がった事を意味します。
- ⑩ 事務事業を実施した結果、どのような影響、成果がどれだけあったかを指標を設定して記載しています。過去3年度の目標値と実績値と当該年度の目標値と実績値、翌年度の目標値を記載しています。
- ⑪ 所管課による「妥当性」「効率性」「有効性」についての自己評価結果を元に、システムが自動で判定した結果になります。a(高い)~d(低い)
総合判定は、上記結果を元に、システムが自動で判定した結果になります。A(高い)~D(低い)
この判定を元に、今後の方向性を決定します。今後の方向性は「拡充して継続」、「現状のまま継続」、「執行方法の改善」、「縮小して継続」、「休止、廃止」から選択します。
- ⑫ 今後の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的内容を記載しています。
- ⑬ 所管課長の所見を記載しています。今後の方向性、今後の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的内容に対して、評価責任者の所見となります。